



学校だより



鎌田マスコットキャラクター
くずのつき m.m

第二十一号 校長 杉村 幸恵

早いもので、今年度も最終月三月を迎えました。いよいよ学校全体が、締めくくりの時期に入りました。六年生にとっては小学校生活の集大成の時となります。三十六名の六年生の門出を祝福するため、学校が一齐に動き出しています。

「六年生ありがとうの会」

先月の二十日には、「六年生ありがとうの会」が開かれました。どの学校でもこの時期には六年生への感謝と中学校へのエールを込めた、送る会が開かれますが、本校は縦割り活動を基本としたオリジナルのお別れの会となっています。この会は、五年生が中心となって進めてくれます。



今年は、こんなに華やかな大型プログラムが運動場にお目見えしました。見ているだけで心遣いが伝わり、温かな気持ちになります！後輩たちが見守る中、五年生が持つアーチをくぐって六年生が入場してきました。自分の班のお兄さんやお姉さんの姿を、身を乗り出して見ている下級生の姿が印象的でした。

この日が縦割り班のみんなで遊ぶ最後の日となります。六年生が決めた、班のみんなで遊びたいことをします。ドッジボールや鬼ごっこ、六年生の放つすごいパワーのボールに歓声を上げたり、六年生を全力で追いかけてたりしながら楽しいひと時を過ごしていました。



その後は、下級生からのプレゼントの贈呈です。ファイル形式になったプレゼントの中には、同じ班の一年生～五年生が一人一人にあてたメッセージがつづられています。すぐさま開き、じっと読み入る六年生の姿がありました。その後は本校恒例の、卒業生紹介です。五年生が六年生一人一人の名前を心を込めて呼び、六年生はもらったプレゼントを高く掲げながら「はいー」の返事で答えます。このようにして最上級生としてのバトンを下級生に繋いでいくのですね。感動的な場面です。

六年生からは後輩たちに手作りのしおりのプレゼントがありました。大人の前とはまた違った穏やかな空気が漂うひと時でした。

六年生のみなさん。後輩たちの気持ち、届きましたか？あと少し、よろしくお願いますね。五年生のみなさん。ありがとう。御苦労さま。

